

発達と老化の理解

担当教員 吉岡 久美

配当年次 1年

単位区分 選択

準備事項

備考

開講時期 第2学期

授業形態 講義

単位数 2

【授業のねらい】

ヒトは時間の経過とともに変化していく。発達と老化の理解では、生殖機能から受精、その後の細胞の変化と成長過程を知り、成長と老化について、その様子を解剖生理学的に学ぶ。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	受精と胎児の発生 1 男性生殖器の構造と機能
2	受精と胎児の発生 2 女性生殖器の構造と機能
3	受精と胎児の発生 3 生殖器の発達
4	受精と胎児の発生 4 生殖細胞と受精
5	受精と胎児の発生 5 胎児期の成長と胎盤
6	成長と老化 1 出生から幼児期の成長
7	成長と老化 2 小児期の成長
8	成長と老化 3 身長・体重の変化と成長に影響する因子
9	成長と老化 4 思春期の発現と変化
10	老化のメカニズム (身体におこる変化)
11	老化と神経系の変化
12	老化と骨・筋系の変化
13	老化と感覚器系の変化
14	老化による諸器官の変化 (心肺機能、腎機能、肝機能他)
15	細胞の死と身体の変化

【履修上の注意事項】

事前学習として、講義で示している単元のテキストを読んてくること。
事後学習では、講義中にとったノートをまとめなおすこと。

【評価方法】

筆記試験100%で評価する。

【テキスト】

人体の構造と機能「解剖生理学」 メディカ出版

【参考文献】

こころとからだのしくみ 「発達と老化の理解」 メヂカルフレンド社